

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	22,270千円	21,690千円	12,916千円	0千円
	総人件費	17,087千円	25,662千円	15,924千円	
	総事業コスト	39,357千円	47,352千円	28,840千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	ジオパーク室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	24	筑波山地域ジオパークに要する経費

事務事業名	01	筑波山地域ジオパーク推進事業			指標名	筑波山地域ジオパークサポ-タ-ズ登録数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	筑波山地域ジオパークサポ-タ-ズ登録数				
戦略プラン	12	1	観光の振興		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
						600名	800名	1000名	2500名	2700名	2900名	3100名							
総合戦略	2	1	観光の振興		実績	535名	700名	2382名											
個別計画	-	-	-	-	改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標	【地方創生加速化交付金事業】 平成31年度末指標値(KPI) ・筑波山入込数:300万人 ・facebook,Twitterフォロア数:1000件 ・観光客入込数:360万人				
						・ジオパーク活動にかかる市民の盛り上げを創出する ・観光計画・プロモーション戦略を策定する				日本ジオパークに認定されたことにより、ジオパークの観光を目的とした来訪者が見込まれることから、看板の設置やガイド養成など受入れ体制の強化を行う。また、日本ジオパーク認定時にJGCより頂いた課題解消を行う。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
根拠法令等	-	-	-	-	事業計画	・協議会定例総会(4月) ・観光計画・プロモーション戦略策定(通年) ・日本ジオパーク申請書提出(4月) ・公開プレゼンテーション(5/21) ・現地審査(7月～8月) ・審査結果発表(9月) ・ガイド養成講座(10月～12月) ・交流センター講座(通年) ・JGN全国大会(伊豆半島) ・ジオツアー、筑ジオカフェ 他				・協議会総会(5月) ・看板等整備計画の策定(上半期) ・ジオサイト解説板等の整備(下半期) ・ガイド養成講座の仕組みづくり及び開催(通年) ・各部会(3部会)の開催(通年) ・JGN全国大会(男鹿・大潟ジオパーク) ・JGN全国研修会等 ・ジオツアー(通年) ・筑ジオカフェ(通年)				事業費(A)	22,270千円	21,690千円	12,916千円	0千円	
事業分類	A	任意的事業			活動実績	・協議会総会(4/27,7/29,10/27,2/7,3/23) ・日本ジオパーク認定申請書提出(4/13) ・プレゼンテーション審査(5/21) ・現地審査(8/23～24) ・審査結果発表(9/9) ・JGN全国大会(伊豆半島大会 10/10～12) ・JGN全国研修会(Mine秋吉台大会 3/10～12) ・筑ジオカフェ(20回 毎回約20名程度) ・総合マーケティング業務(調査分析,PR動画,まち映画作成,旅行商品開発(7コース),筑波山地域ジオブランドのガイドライン策定,観光パンフレット作成)				上半期活動実績				内訳	国庫支出金	15,000千円	15,000千円	0千円	0千円
執行体制	職員のみ				成果	・ジオパーク活動やPR活動を積極的に行うことによりジオパークサポ-タ-ズ登録数が大幅に増加した。(700名2,382名) ・更にJGCより指摘を受けた課題を一つ一つ解決しつつ、ジオパーク活動を進めることにより、筑波山地域が日本ジオパークに認定された。(9/9)				上半期成果				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	ジオパークは、地球科学的に価値の高い地質・地形を含む自然遺産を保全・保護し、教育や防災活動、ジオツーリズムなどに活用し地域の持続可能な発展を目指した活動である。筑波山地域ジオパークでは、つくば市、石岡市、笠間市、桜川市、土浦市、かすみがうら市をエリアとし、住む人にも訪れる人にも『みんなに愛される地域づくり』を目指してジオパーク活動を進めている。				課題	日本ジオパーク認定時にJGCより頂いた課題 【1～2年以内で解決すべき課題】 ・ジオサイト案内板、解説板の設置 ・ガイド養成及びスキルアップ ・研究機関との連携、教育活動への浸透 等 【3～4年先を視野に解決すべき課題】 ・拠点施設の整備 等				課題				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	筑波山地域ジオパークアクションプランに基づき、以下のような取組を進める。 『ジオを理解するための取組』として、学校教育を通じた教育・普及活動 『ジオを守るための取組』として、ジオサイトのデータベース化、保全体制の強化 『ジオと触れ合うための取組』として、ジオガイドの養成及び体制づくり、旅行業者と連携したジオツアーの開催 『ジオをつなぐための取組』として、他のジオパークとの情報交換及び連携 『ジオが続くための取組』として、ボトムアップの協議会体制の強化				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている			評価	有効性	-			一般財源	7,270千円	6,690千円	12,916千円	0千円
	H29環境関連性	-	-	-		効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-			人件費(B)	17,087千円	25,662千円	15,924千円	
						総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-			正職員	2.00人	3.00人	2.00人	
															従事割合	2.00人	3.00人	2.00人	
															時間外勤務	835.00時間	1390.00時間	480.00時間	
															臨時職員等	有	無	有	
															事業コスト(A+B)	39,357千円	47,352千円	28,840千円	
															H30年度当初積算根拠				
															H30年度の方向性	-	理由	-	